

## 支部だより

2017.4.12 No.16 東京支部事務局

### 2017年第1回“定例研究会”開催！！

1. 日時:2017年3月11日(土)14:00~16:45
2. 会場:写真弘社銀座
3. 講師:山本一先生(JNP指導会員)
4. 参加メンバー数:15名

3月11日、今年第1回目の定期研究会が山本一先生をお招きして開催されました。

今回の定例研究会参加15名、各自作品5点を持ち寄り(全体では約70点の作品)、作者とのやり取りの中で定例研究会が行われました。

講評は、1人5点を白板に張り出し、まずキャプションの確認そして1点ずつ作者との会話をしながらすすめられました。

山本先生も今回は2回目の講評ということもあり、先生と参加者との距離も近くなり、褒めながらも厳しい指摘も増え、参考になった点が多かったのではと思います。

講評の中での先生の指摘、質問に対して参加者は、「なるほど」「いやあ、そこはカメラが置けなくて」「先生指摘を取り入れた作品もありますよ」「・・・」と講評を受け入れつつ、言い訳も！！

講評後は、作品を参加者に回し、細かく見ながらお互いに感想を言ったり、また、「こうした方が良いのでは」等意見交換をしたり・・・



先生の講評は、厳しい指摘も多いのですが、先生のお人柄と関西弁による講評の効果もあり、和やかな雰囲気の中で行われました。

講評の最後に全体のまとめとして、以下のアドバイスをいただきました。

- ・素晴らしいシャッターチャンスに出会ったら色々な構図で撮る。
- ・多くを盛り込まずポイントを絞る。
- ・雪・氷はエッジの効いた感じでシャープに撮る。
- ・タイトルには物語り性が必要(そのままをタイトルにしない)

定例研究会終了後、先生を囲んでいつもの「桃杏楼」で懇親会をしました。時のたつのも忘れ、会の運営、写真談義に花が咲き、お酒も進み楽しいひと時を過ごしました。

次回の定例研究会は6月10日(土)です。

(文責:太田桃子)

### 3/18開催臨時役員会報告

3/18(土)15:00~17:00、写真弘社銀座にて、臨時役員会が行われました。

議題は、東京支部15周年記念支部作品展を中心としたテーマでの意見交換、

以下のことが決定されました。

- ① 15周年記念支部作品展  
: 2017年11月10日(金)~16日(木)  
会場・富士フィルムギャラリー銀座  
作品・大全紙(各自2作品)
- ② 15周年記念支部作品展用図録  
: 費用との関連もあるが、詳細見積を取りA4版(各ページ2作品掲載)図録を作成する方向で進める。  
図録は、会員(最低10冊程度)、また、来場者にも購入いただく。
- ③ 15周年記念支部作品展での山本一先生の作品展示  
: 山本一先生に作品1点の展示をお願いする。
- ④ 15周年記念祝賀会(全員参加+招待者数名)  
: 内輪(15周年は内輪、20周年は外部の方を巻き込んで)での記念祝賀会を開催する。

2017年11月16日(木)・・・最終日

17:00～19:00

会場・・・銀座「桃杏楼」

#### ⑤その他

：各支部における会運営の状況・・・報告  
東京支部HP、FBによる発信・・・確認  
その他

臨時役員会終了後、場所をいつもの「桃杏楼」に移し、一杯飲みながらの東京支部の運営、写真談義で盛り上がった。

(文責：戸張 眞)

・埼玉県秩父・・・秩父高原牧場(5月)

・長野県飯山・・・鍋倉山、野ノ海高原(6月)

・群馬県赤城山・・・白樺牧場、栗太郎(6月)

その他

講義は、一方的な話ではなく、適宜参加者からの質問、意見が出され高橋さんも個別に対応しながら和やかな内に進められた。

また、撮影に当たり注意すべき点として以下の様なアドバイスがなされた。

- ・主題、副題、背景を意識する。
- ・方向性、流れをうまく入れる。
- ・画面の4隅を丁寧に、無駄なく。
- ・桜は枝ぶりを活かす。

その他

最後に、3名の方から約8枚の作品が出され、高橋さんの講評を受け、第1回特別研究会は無事終了。さらに、懇親の場をいつもの「桃杏楼」に移し、高橋さんへの質問、意見交換、撮影地情報、本日の講義の感想等・・・時間も忘れ楽しいひと時を過ごした。

第1回の特別研究会・・・参加された方の感想は上々、次回も楽しみと、期待は高まる一方です。

次回は、7月2日(日)。会員外の方も参加可能です。ぜひ、写友の方々をお誘い下さい。

(文責：戸張 眞)

## 第1回 “高橋清写真術を学ぶ”

### 大好評の内に終了！！

1. 日時：2017年3月11日(土) 14:00～16:45
2. 会場：写真弘社銀座
3. 講師：高橋清さん(東京支部副支部長・撮影技術担当役員)
4. 参加メンバー数：14名

4月2日、第1回「高橋清写真術を学ぶ」が高橋ファンの熱い期待を受けて開催されました。参加者は会員メンバーを中心に14名。

今回は、予定のテーマを盛り込みつつ、高橋さんが撮影した過去3ヶ年4-6月の作品から約100枚を選定し、撮影地の紹介と撮影に当たってのポイントを中心に講義が行われた。

ちなみに、紹介された作品の撮影エリア、撮影場所、季節は以下の通り。

- ・長野県中川村・・・大草城址公園、谷川家、望岳荘、中沢のしだれ桜(4月)
- ・福島県中通り・・・花見山、三春の桜、雪村桜(4月)
- ・長野県高山、須坂・・・水中の桜、黒部エドヒガン桜、弁天桜他(4月)
- ・群馬県沼田、片品村・・・天王桜、発地の桜他(4月)
- ・長野県白馬村・・・野平の桜(4月)
- ・新潟県十日町・・・星峠、巻機山(5月)

## 高橋清さん風景写真フォトコン

### 入賞100回記念祝賀会 “開催！！”

2/18青山会館IVY HALLで東京支部副支部長・技術担当役員 高橋清氏さんの「風景写真フォトコン100回入賞記念祝賀会」が行われました。

各地(遠くは、大阪、福井からの参加)から高橋さんと交流の深いプロ、ハイアマチュアの方々、雑誌関係者、KJ須山会、JNP東京支部所属の方々約70名が集まり盛大な祝賀会でした。

開幕は、司会の前山さんから高橋さんの紹介が行われ、その後、隔月「風景写真」誌・石川編集長によりこの日のために作成された「高橋清 入賞の軌跡(入賞作品100点)」の投影、さらに、石川編集長からは「100回の入賞、今まで誰も到達していない快挙と驚き、今後もアマチュア写真家の手本とな

り、200回入賞を目指していただきたい」とのご挨拶がありました。

また、「高橋清入賞の軌跡」では、過去100点の入賞作品がスライドショー形式で投影され、目を引く作品のところでは、参加者から「わー、凄い」と歓声が上がリ、結局当初の予定では1回だった投影が、参加者のリクエストにより、2回行われました。

その後、参加者同士、また、高橋さんが参加者の中に入り乱れての歓談、プロ写真家の方々の祝辞、ご家族の紹介など、およそ2時間にわたり和気藹々の中でお祝いの会が進みました。

そして、最後にカリスマプロ写真家辰野清氏によるご挨拶と中締めでお開きとなりました。

高橋さんの人柄もあり、大勢の方が集まり大変楽しい祝賀会でした。



高橋さんには、今後もコンテストに応募されて生涯現役、200回入賞を目指していただきたいし、東京支部にあっては、副支部長・技術担当役員として撮影、写真技術を伝授いただき、会員メンバーのレベルアップに貢献していただきたいと思います。

(文責：戸張)

## “私のお気に入り撮影スポット”

### 2017年第2回

首都圏から日帰りでカメラ行脚が出来る湘南地区をご紹介します。その地域は何と言っても江の島、鎌倉方面です。撮影場所としては、四季を通して江ノ電やJR横須賀線の各駅に隣接する神社仏閣を始めとして海岸から相模湾を手前に素晴らしい風景がそこにあります。



中でも江の島の稚児が淵の岩肌を高波が舞い上がるカットが好きです。長い海岸線のいたるところから西に聳える富士山に太陽が落ちるダイヤモンド富士の撮影は、春と秋が撮影適期です。春は4月3日頃から9日位まで藤沢市湘南海岸、稚児が淵、稲村ガ崎、逗子、平塚、森戸等の海岸がポイントであり、秋は8月29日頃から9月9日くらいまで横須賀の立石海岸から上記の場所で撮影できます。

【ダイヤモンド富士】で検索すれば詳細がわかりますので活用してください。また800年の歴史ある多くの寺社には、花木の名所も多く1年中花々が咲いており必ず満足させてくれます。これも人々が途切れない理由なのが判ります。春の桜、秋の紅葉、そして雪に覆われた冬景色も各々全く異なった風情を見せてくれます。温暖地のこの地域は近年降雪も少なくなりましたが、雪が降ればそこにはカメラマンがあちらこちらに現れ、撮影に疲れて空腹になった時刻には美味しい海の幸が食べられるお店があるのも嬉しいですね。普段は【とびっちょ】、【池田丸】を利用しておりますが、待ち時間が許せば立ち寄り、乾杯したいところです。是非この地へ訪れたらいかがでしょう。(文責：紀田 幸夫)

### 事務局からのお願い

FBでの情報発信を試験的に行うために、皆さまから写真を募集します。5月10日までに1人1点はお提出くださいますようお願いいたします。あくまで試験ですから渾身の力作でなくてかまいません。どうぞ、よろしくお願ひします。(文責：泉屋ゆり子)